

動物細胞工学研究室（大久保研究室）

大久保 武 教授（620号室）

E-mail: Takeshi.ohkubo.0533@vc.ibaraki.ac.jp HP: <http://animalcell.agr.ibaraki.ac.jp/>

Ohkubo Laboratory

主要な研究テーマ

・鳥類の抱卵行動制御に関する研究

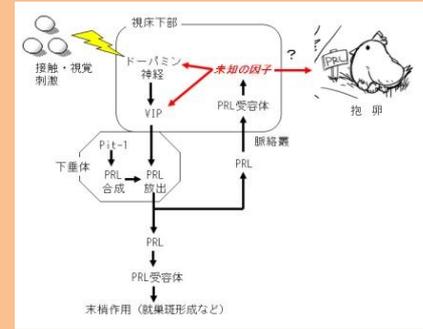
採卵用に開発されたニワトリは、自分の力で卵を温めて雛を孵化させることができません。この原因を明らかにするために、卵を温める行動を支配している遺伝子の特定を進め、鳥が卵を温める行動の分子制御機構の解明を目指しています。



左) 実験で使用するウコッケイ(烏骨鶏) 卵を温める気持ちが強いことが知られています。



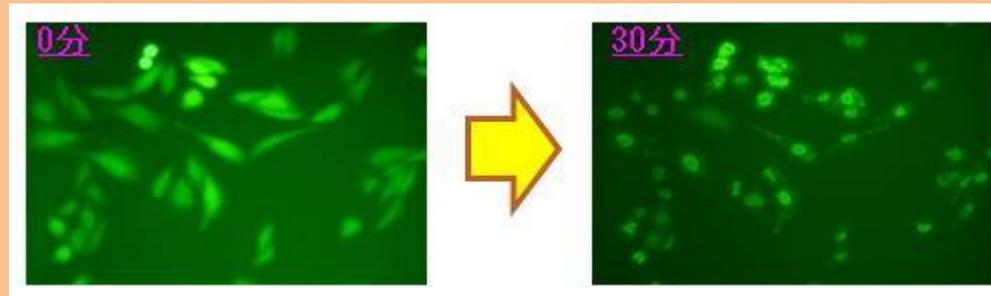
右) むいぐるみを抱く奥久慈しゃも 抱卵中はほとんど巣から離れません。



上) 抱卵を支配する遺伝子はどこに？

・サイトカイン受容体の情報伝達機構に関する研究

家畜・家禽生産で重要な成長や生殖は種々のホルモンの影響を受けています。それらの中で特に下垂体ホルモンの情報伝達に関係するサイトカイン受容体ファミリーの情報伝達制御について細胞生物学的な解析を行っています。



上) 細胞内の転写因子の動きを追跡できる細胞 GFPをつないだ転写因子が核の中に移動しています。

教員からのメッセージ

研究にはあらかじめ用意された答えはありません。日々の実験の積み重ねから得られた結果から答えを見出すのです。試行錯誤の連続ですが、新たな発見を目指し、ともに頑張っていきましょう。